

LUXMAN

CONTROL AMPLIFIER
C-600f
STEREO POWER AMPLIFIER
M-600A



“真”世代

その存在は、音楽のために——気品を湛え
その存在は、聴く人のために——音楽のダイナ
比類のない音楽表現を獲得した真のフラグ
“真”世代のセパレート、C-600f/M-600A。

●
2005年、創業80周年を迎えたラックスマンは、

持てる最高の技術を注ぎ、フラグシップC-1000fを完成させました。

生み出されたのは究極のアンプ直結型アッテネーターLECUA1000。

C-600fでは、上級機に比肩するクオリティを実現するため、

この心臓部を、コンセプトを変えず小型化したLECUA1000-WMを搭載しました。

大切なものは妥協しない。それがラックスマンの流儀です。

●
CONTROL AMPLIFIER

C-600f



の血統。

凛とたたくその姿が、純粹に音楽を伝える。

ミクスが、^{ともしび}灯火のように優しく語りかける。

シップC-1000f/B-1000fの血統を受け継ぐ、

スティックな表情に情熱を秘め、今ここに誕生。

●

フラグシップB-1000fは、ラックスマンの持つすべてのノウハウと、あらゆる物量を制限なく投入し完成させた、究極のパワーアンプです。実現されたのは4パラレル出力×4モジュールの圧倒的なドライブビリティ。

M-600Aでは、その思想と魅力的なサウンドを受け継ぐため、熟成を進めたODNF増幅回路を、好評の純A級仕様で採用しました。受け継いだものと新しく得たもの。ラックスマンは進化の歩みを止めません。

●

STEREO POWER AMPLIFIER

M-600A

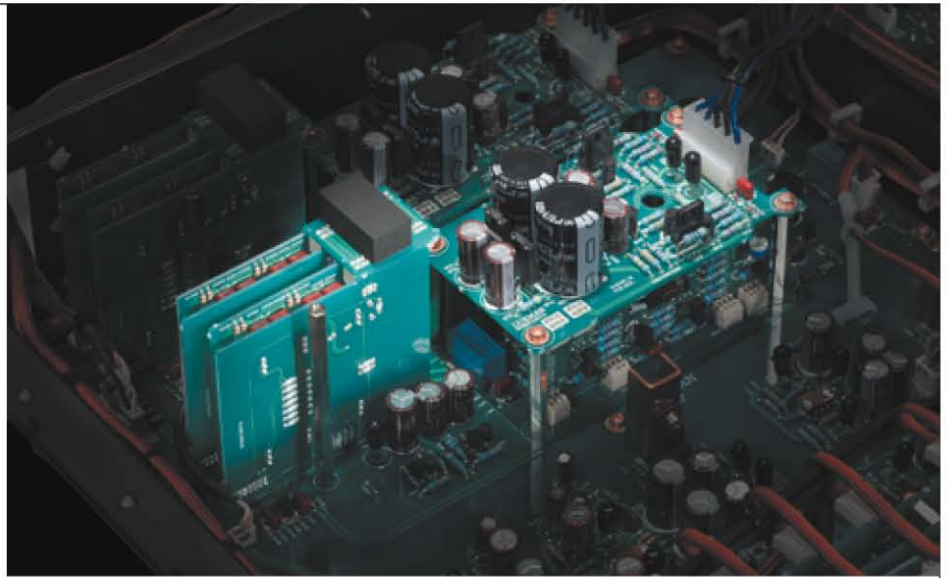


コントロールアンプの心臓部 音量アッテネーターと アンプ回路を一体化した ひとつの到達点 LECUA1000-WM

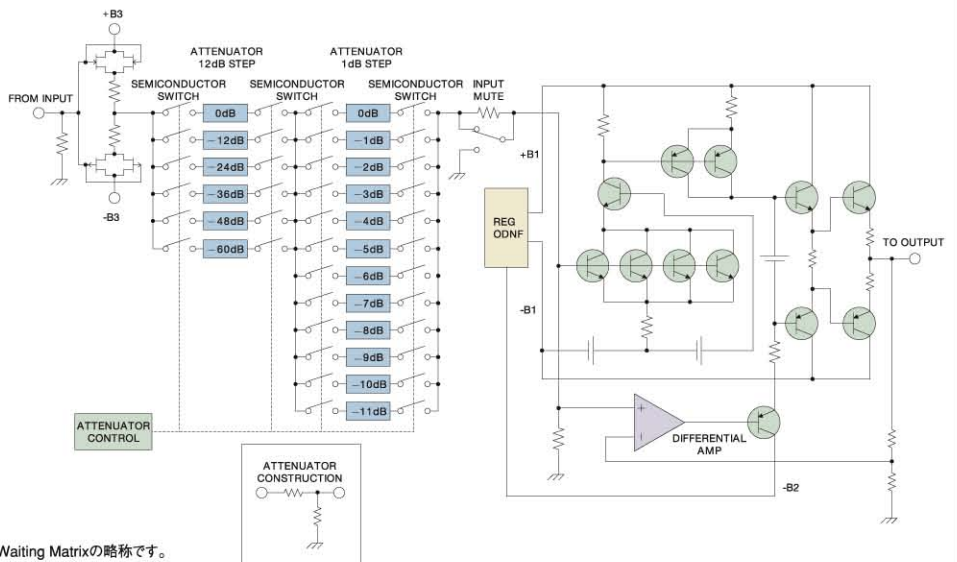
微小レベルの音楽信号を扱うコントロールアンプの役割の中で、最も重要だと言える音量調節機能。C-600fでは従来の摺動型ボリュームの直感的な操作フィーリングを踏襲しながら、大幅な音質の向上を実現したLECUA1000-WMを採用しました。電子制御による固定抵抗切替型の音量アッテネーターとODNF方式のアンプ回路を一体化したLECUA1000-WMは、シリーズに接続された2つの固定抵抗を組み合わせて減衰量を得る仕組みを採ることで、フラグシップモデルC-1000fに採用されているLECUA1000のアッテネーター部を効率化したものです。アッテネーター方式には音量位置による音質の変化がほとんどなく、通過する信号の劣化が最低限に留められるという特徴があり、ラックスマンでは、さらに実装基板の立体的な構成によりアンプ回路も一体化することで、信号経路の最短化も図っています。また、増幅部には、歪成分のみをフィードバックすることで音の立ち上がり性能を表す初期スルーレートの速さや、超広帯域と低歪を両立する定評のODNF回路を搭載。しかも初段トランジスターを4パラレル化、2段目をパラレル化して一段と高S/N化を果たした最新バージョンの2.4を採用しました。

バランス入出力も装備した本格的なコントロールアンプC-600f。さまざまなシステム構成に柔軟に対応する機能を持つ中で、C-800fと全く同一グレードのLECUA1000-WMをアンバランス構成で2基搭載し、RCAラインケーブルによるアンバランス入出力を選択したときの性能は、まさに上位機種に匹敵する音質を実現しています。

※ LECUA-WMはLUXMAN Electric Controlled Ultimate Attenuator - Waiting Matrixの略称です。
※ ODNFはOnly Distortion Negative Feedbackの略称です。



LECUA1000-WM (音量アッテネーター + ODNFアンプ)



LECUA1000-WMブロックダイアグラム

「パワーアンプドライバー」の思想を実現する 強力なハイナード電源回路

スピーカーをドライブする役割を持つパワーアンプに対し、そのパワーアンプを理想的に動作させるための「パワーアンプドライバー」という思想を担ったコントロールアンプC-600f。フラグシップモデルC-1000fから受け継いだ強力な電源供給回路の搭載によって、その思想は見事に具現化されました。大容量のブロックコンデンサーと制御を深くかけすぎないレギュレーター回路の採用で、微小な時間単位での電圧変動がほとんど起こらないハイナード（高慣性）電源を構成。刻一刻と変化するデリケートな音楽信号の流れを阻害しない安定した電源供給が可能となり、力強さと繊細さを両立したC-600fの音質をボトムから支えています。



C-600f大容量電源トランス

出力モードの切り替えや、トーンコントロールなど コントロールアンプに求められる豊富な機能の搭載

C-600fには、オーディオシステム全体の環境を集中コントロールする豊富な機能を盛り込みました。フロントパネル上のスイッチで簡単に設定可能な、出力モード（アンバランス、バランス、同時出力）やバランス接続時の位相切り替えを始め、リスニングルームの条件や聴く音楽によって高音/低音のバランスを1dBステップで調節できるトーンコントロールも装備。また、録音系コンポーネントの入出力を1系統持ち、CDレコーダーやテープデッキ等接続時の録音・モニターも可能です。そして設定内容はすべて、表示の明るさを調節（消灯も可）できるディマー機能を装備した大型FLディスプレイで確認することができます。



視認性に優れたFLディスプレイ部

高級感あふれるアルミ製リモコンで すべての機能を集中操作

オーディオ・コンポーネントには、音を聴く喜びに加えて、操作する喜びがあるべきだと考えます。ラックスマンは、音楽を能動的にコントロールする機器へのこだわりとして、装備された様々なスイッチ類の質感も重視しています。C-600fでは本体のノブやボタンの仕上げ、操作フィーリングも徹底的に練り上げました。また、手に触れる機会の多いリモコンは、ほど良い重量感のあるアルミ製。音量調節はもちろん入力切り替え、アンバランス/バランスの出力モード設定やトーンコントロールなど、C-600fの備える豊富な機能を手元で集中操作することができます。ケースは本体と共通のイメージで仕上げられ、側面は手に馴染むラウンドフォルム。操作するたびに、高級感を演出いたします。



CONTROL AMPLIFIER

C-600f

音楽のダイナミズムを、自在に操る快感——。

フラグシップ譲りのアンプ一体型音量アッテネーター

LECUA1000-WMを心臓部に抱き、

十全な機能と高性能の両立を実現した。



ラックスマンの求める音のために専用開発された 大量の高音質カスタムパーツ群

回路を構成するパーツ類は全て、音質や音色を決定付ける大きな要素となります。C-600f/M-600Aでは、フラグシップモデルC-1000fとB-1000fの長い開発期間の中で生まれた、音質最優先のオリジナル・カスタムパーツを大量に投入しています。ハイレギュレーションの電源トランスをはじめとして、材料の種類や配分を徹底的に検討したコンデンサーや抵抗、さらには入出力端子、各種ワイヤー類に至るまで、何度も試験を繰り返して独自にカスタマイズされたこれらのパーツには、長年培ってきた技術やノウハウが込められており、そのクオリティが、単にシステムの性能を上げるためだけでなく、深い音楽性を求めるラックスマンの音を支えているのです。



STEREO POWER AMPLIFIER

M-600A

音楽の息遣いを、漏らさず受け止める実感——。
強力な電源部に裏打ちされたパワーリニアリティと
純A級の限りないピュアネスが、
豊穡で艶やかな音楽表現を可能にした。



振動による悪影響を排除する

グラデーション鑄鉄製インシュレーターレグ

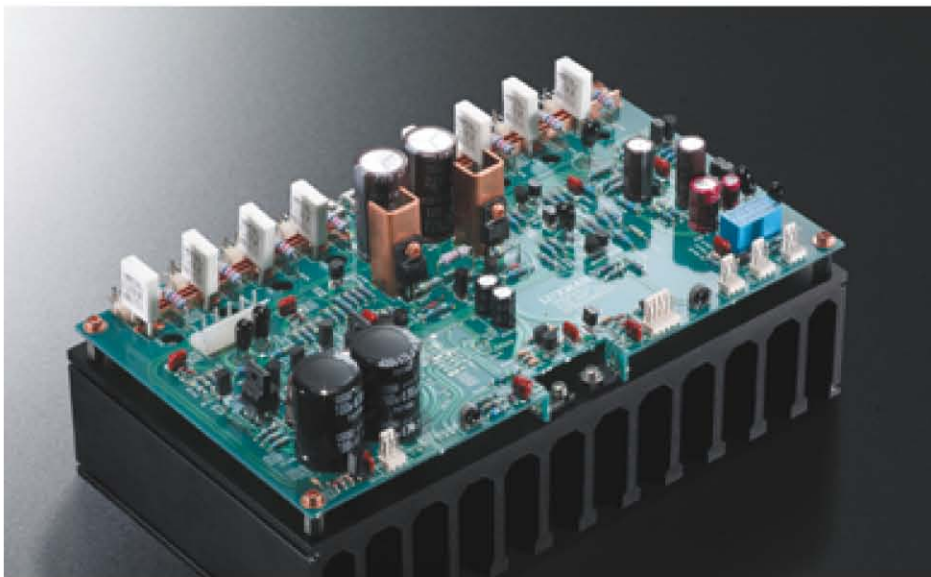
不要な振動の伝達はコンポーネントの安定した動作を阻害させるだけでなく、音質を大きく劣化させる原因ともなります。アンプ内部にあって大きなパワーの交流を扱う電源トランスは振動発生の原因となり、またスピーカーから出る音圧は床やラックを伝い、アンプへの外来振動となります。これらによって各パーツが振動し、微細な音楽信号に悪影響を与えるのです。シャーシと設置面をつなぐレグには、アンプ内部で生じる振動を素早く外部に逃がすと同時に、外来振動を断ち切る役目があります。C-600f/M-600Aのインシュレーターレグに使用されているグラデーション鑄鉄は、溶けた鑄鉄を急冷することで中心部から周辺部に向かって金属組織が徐々に小さくなるという特性を持っているために共振が起こりにくく、振動による悪影響を排除するために最適な材料です。

音楽を感じさせるエクステリアと

内包されたループレスシャーシ構造

C-600f/M-600Aのフロントパネルは、今やラックスマンのアイデンティティとも言えるシックなプラスターホワイトで仕上げられています。柔らかな曲線を描くアルミパネルのシンプルなサイドライン、精緻な印象を与えるC-600fの大型FLディスプレイや、淡いイエローのライトが滑らかに上下するアナログマインドあふれるM-600Aのイルミネーションメーターなど、魅力的なデザインが視覚からも音楽を感じさせます。

また、シンプルな外装に隠された内部コンストラクションには、アースインピーダンスの上昇や磁界発生の原因となり、音質劣化をもたらすシャーシ電流にも目を向け、筐体によるアースループを発生させないループレスシャーシ構造を採用しています。ラックスマンは音の純度を高めてより音楽の感動を強めるため、コンポーネントを構成するあらゆる箇所に対し徹底的に対策を施しているのです。



負荷にリニアに追従する 大容量の出力構成と 純A級動作による 重厚な音質を実現した 定格30Wのパワーブロック

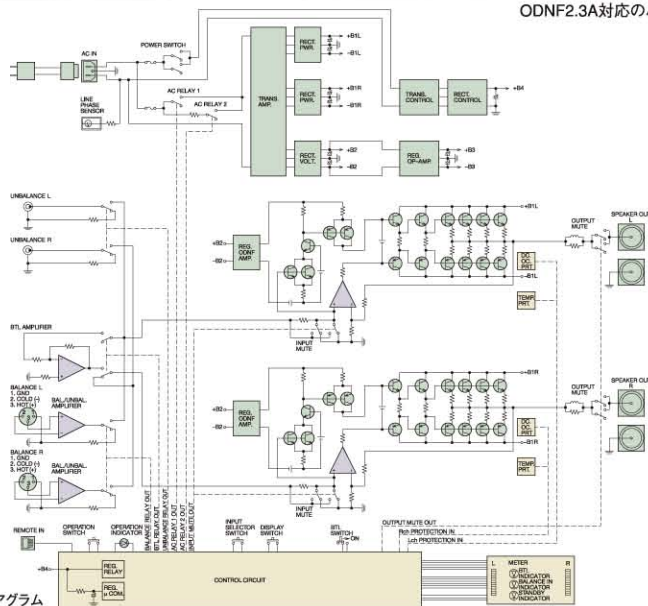
パワーアンプの役割とは、まさにスピーカーにパワーを送り出し、十分にドライブすること。そのためには、入力された信号を忠実に増幅する性能と、接続されたスピーカーのインピーダンスと音楽のダイナミズムに追従した電源電流を瞬時に供給する能力が必要となります。M-600Aではこれらの要求を魅力的な音楽性と共に実現する策として、まずは増幅回路に純A級動作方式を採用。一般的にB級動作では、音楽信号の波形をアースレベル中心に上下に分割するため、合成時にその接続部分でクロスオーバー歪が発生しますが、個々のトランジスタが完全な波形増幅を行なうA級動作では、原理上合成時の歪がなく、なめらかで厚みのあるサウンドが得られると同時に、常に一定のアイドリング電流を流していることから、入力された音楽信号に瞬時に反応できるというメリットがあります。

また、フラグシップモデルB-1000fから受け継いだ高性能な4パラレル出力モジュールの採用により、8Ω負荷時に30W+30Wという定格出力は、4Ωで60W+60W、瞬間出力では1Ω/240W+240Wを実現。決して全ての帯域で一定ではないスピーカーのインピーダンスにリニアに追従することで、比類ないドライブ能力を誇ります。さらに、BTL設定により定格120W(8Ω)、瞬間出力480W(2Ω)というパワフルなモノラルアンプとしても活用可能です。

もちろん、基本回路には歪成分のみを音楽信号から抽出して最終段にフィードバックするODNF(Ver.2.3A)を搭載。ネガティブ・フィードバックによる美しい低歪のクオリティと、無帰還に近い初期スルーレートの速さと広帯域特性を両立しています。

※ ODNFはOnly Distortion Negative Feedbackの略称です。

ODNF2.3A対応のパワーアンプブロック



M-600Aブロックダイアグラム

大容量のEI型電源トランスで スピーカーを強力にドライブ

CDプレーヤーなど、接続される様々な音楽ソースから送り込まれる瑞々しい音楽信号の持つエネルギーを余すことなく増幅し、接続されたスピーカーを十分に駆動するには、全てのパワーの源とも言うべき電源部が強力でなければなりません。M-600Aでは、オーディオ専用として開発された、定格680VAというゆとりある容量と、ピアノシモからフォルティシモまでの起伏の激しい音楽の再生時など、ここぞという瞬間にねばり強く対応するEI型ハイレギュレーション電源トランスを搭載。これにより、力強い低音の再生と、極めて小さな音量から大音量までの一貫した音楽のダイナミズムを伝えるクオリティの実現に成功しました。

大容量コンデンサーによる安定した パワー供給が可能なハイナージャ電源

高いレギュレーション能力を誇る電源トランスによって供給される電流は、独自にカスタマイズされた40,000μF(10,000μF×4)という大容量のブロックコンデンサー群に蓄えられ、増幅回路が大きなパワーを必要とするタイミングに瞬時に供給されます。反応の速い良質なコンデンサーを使用し、容量に十分な余裕を持たせた電源回路ブロックは、不規則に変化する入力信号に対して電源供給の時間差をほとんど生じさせません。そのため細かい電圧制御が不要になり、まさに重量級のアナログターンプールが自らの持つ慣性(イナーシャ)により滑らかに回転し続けるイメージを具現化した、安定度の極めて高い電源供給が可能になりました。

信号ラインの流れをスムーズにする 伝統のラウンド配線パターン

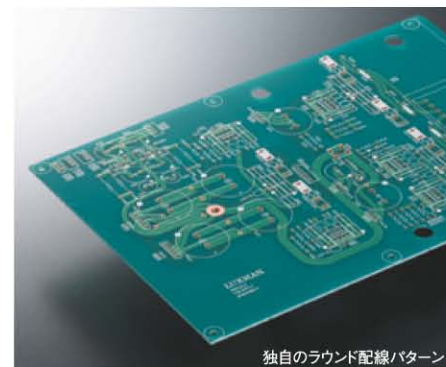
基板を流れる信号ラインは人間で言えば体内に張り巡らされた血管のようなもの。アンプの血液たる音楽信号の流れがひと時たりとも滞ることのないよう、ラックスマンでは基板内の信号ラインの幅を可能な限り一定に保つことで電流密度を一定化し、さらに決して小さな角度を作らず滑らかな曲線を描くことで、信号の流れをスムーズに保っています。これは専用のCADマシンで作成されるラウンド配線パターンと呼ばれ、アナログ信号を丁寧に取り扱うことにこだわりを持つラックスマンでは全製品に採用されています。こうした細やかな配慮によって実現されるストレスのない信号伝送が、伸びやかな音質につながっているのです。



M-600Aメイン電源トランス



パワー段用の大容量整流回路



独自のラウンド配線パターン

C-600f CONTROL AMPLIFIER



C-600f SPECIFICATIONS

入力感度 / 入力インピーダンス	アンバランス / 300mV / 47.5KΩ バランス / 300mV / 67.0KΩ
出力 / 出力インピーダンス	アンバランス / 定格1V / 564Ω 最大5.8V バランス / 定格1V / 600Ω 最大6.2V
全高調波歪率	アンバランス / 0.009%以下 (20Hz~20KHz) バランス / 0.018%以下 (20Hz~20KHz)
周波数特性	20Hz~20KHz (+0, -0.1dB) 5Hz~116KHz (+0, -3.0dB)
S/N比	アンバランス / 123dB (IHF-A) バランス / 120dB (IHF-A)
入力	アンバランス 5系統+REC、バランス 2系統
出力	アンバランス 2系統+REC、バランス 2系統
リモコン機能	オペレーション インプット・セレクター 音量アップ/ダウン ミュート、出力モード バランス位相切替、ディマー チャンネル・プリセット トーンコントロール REC 出力

付属装置	[フロントパネル] オペレーション・スイッチ オペレーション・インジケータ スタンバイ・インジケータ インプット・セレクター、ボリューム ドットマトリクスFLディスプレイ 出力モード・インジケータ トーン・インジケータ バランス位相切替インジケータ 出力モードスイッチ バランス位相切替スイッチ、モニタースイッチ [リアパネル] メイン電源スイッチ、シグナル・グラウンド端子 リモート出力 (2系統) ラインフェーズ・センサー ACインレット、ACアウトレット
電源電圧	AC100V (50 / 60 Hz)
消費電力	21W (電気用品安全法の規定による) 2.3W (スタンバイ時)
外形寸法	440 (幅) × 117 (高さ) × 407 (奥行き) mm
重量	13.0 Kg
付属品	リモコン (RA-60) 電源ケーブル (JPA-10000)



JANコード : 495813600229-9

M-600A STEREO POWER AMPLIFIER



M-600A SPECIFICATIONS

連続実効出力	30W+30W (8Ω) / ステレオ時 60W+60W (4Ω) / ステレオ時 120W (8Ω) / BTL時
最大出力	240W+240W (1Ω) / ステレオ時 480W (2Ω) / BTL時
入力感度	550mV / 30W (8Ω)、GAIN 29dB
入力インピーダンス	アンバランス / 51KΩ、バランス / 67KΩ
全高調波歪率	0.009%以下 (1KHz、30W / 8Ω) 0.1%以下 (20Hz~20KHz、30W / 8Ω)
周波数特性	20Hz~20KHz (+0, -0.2dB) DC~130KHz (+0, -3.0dB)
S/N比	114dB (IHF-A)
ダンピングファクター	350 / 8Ω
入力	アンバランス 1系統、バランス 1系統
出力	大型スピーカー端子 1系統

付属装置	[フロントパネル] オペレーション・スイッチ オペレーション・インジケータ スタンバイ・インジケータ 入力切替スイッチ、バランス・インジケータ BTLインジケータ・レベルメーター メーター・ディスプレイ・スイッチ [リアパネル] メイン電源スイッチ、BTLスイッチ シグナル・グラウンド端子、リモート入力端子 ラインフェーズ・センサー、ACインレット
電源電圧	AC100V (50 / 60 Hz)
消費電力	290W (電気用品安全法の規定による) 290W (無信号時)、3.8W (スタンバイ時)
外形寸法	440 (幅) × 189 (高さ) × 420 (奥行き) mm
重量	26.5kg
付属品	電源ケーブル (JPA-10000) 専用リモートケーブル



※規格および外觀は予告なく変更することがあります。

